

原発についての市長の姿勢後退か！？



橋爪議員の一般質問

点では、私自身の考えをお示しするに至っていない」と答弁し、これまでの主張とは矛盾する姿勢を示しました。

また、この間、何人もの議員が求めてきた「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に当たっ

て、UPZ自治体と東電の間で結ぶ事前了解権を有する安全協定」についても、「UPZ自治体に事前了解権は必要であるとの考え方は、今も変わりはない」としながらも、「今のUPZ自治体においては、各首長それぞれのお考えもあり、その実現に向けて取組を進めていくという認識が共有されていないことから、UPZ自治体が東京電力に対し、事前了解権を有する安全協定の締結を求めることについて、現時点では難しい」と後ろ向きの答弁を行い、自らが他のUPZ自治体首長に働きかける姿勢を表明しませんでした。

橋爪議員が次にたじたのは、安定ヨウ素剤の配布の件です。

新潟県は、今年度から柏崎市の住民に安定ヨウ素剤の事前配布を開始していますが、当市では配布されていません。そこで、「今後、当市としてどう対応するのか」とたじました。

これに対して市長は、「県では、柏崎市での結果を踏まえて他市町でも事前配布するとしている。当市でも事前配布に向けて県と協議している。準備が整い次第、当市でも事前配布できるよう取り組んでいく」と答えました。

橋爪議員は最後に、市長の公約にもある「上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画」についてたじました。

市長は、「これまでに整理した内容について、本年度末までに当市の『屋内退避・避難計画』に反映していきたい」としたほか、「より実効性あるものにするために、国、県、関係市町村と連携して随時更新していく」と答弁しました。これは一歩前進です。

旧統一協会の問題で強く迫る

平良木議員は一般質問で、中学校統合問題、旧統一協会の問題、性的少数者への支援について論戦しました。このうち、旧統一協会問題では、イベントへの市の後援の取り消しを強く迫りました。



Q 7月に行われた旧統一協会関連団体のイベントを後援したことは、不適切であったと評価しているのか。

A 旧統一協会に対する認識が下がっていたし、名前が変わっていたのでも知らなかったことから後援することになったが、すでに終わったイベント

であり、その場では不適切な行為がなかったもので、現時点では取り消しには至らないと思っっている。ただ、市民に対して悪影響を与えるかもしれない団体のものを後援したことは大いに反省をし、今後関係を持たないよう対応していきたい。

Q 反省しているのに取り消さないというのはいらない。もう一度説明してほしい。

A 今回の経緯では、調査が不十分だったという意味で反省しているが、取り消しに値する法的な根拠まではないので、現時点では取り消さない。ただ、他市町村で、後日取り消した事例があるとう

聞いたので、どういう根拠で取り消したのか確認したい。

Q 終わってしまったことだから取り消さないとなると、どうしてもその事実が残る。もしかするとその団体が「過去にこのような経緯で後援してもらったイベントを行った実績がある」などの宣伝をするようであれば、当市は大変な責任を負うことになる。直近では、富山市が過去の後援を取り消すという判断をした。それを踏まえて、取り消しをしっかりと検討していただきたい。いかがか。

A いろいろな情報を判断した上で検討したいと思う。

安倍氏「国葬」での半旗掲揚

日本共産党上越市議員団ニュース
No.765 2022年10月9日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

県内では半数を下回る14市町村 上越市はその一つに！

9月27日に行われた安倍元首相の「国葬」で、庁舎などに半旗を掲げたのは、県内30市町村のうち、半数を下回る14市町村にとどまりました。

掲げなかった長岡市では、磯田市長が、

「国葬を決定するプロセスについて国民の皆様からいろいろな疑義も出ている中で、国民・市民すべての弔意・敬意をお願いする状況にはないと考えています」とのコメントを発表したとのことですが、市民の代

表としてしごくまっとうな姿勢でしょう。ところが、わが上越市では木田庁舎や13区の総合事務所に半旗を掲げました。まことに恥ずべき姿勢と言わざるを得ません。